

家計簿

2023.10.18

8月から毎日、家計簿をつけている。とはいっても、スマホである。家計簿アプリである。これが非常に便利である。レシートを読み取ってデータにしてくれる。後からの修正も自由自在である。今では、現金を使うことがめっきり減った。多くがスマホ決済、カード払いである。これらは、スマホに記録が残っている。それをもとに家計簿アプリに打ち込むようにしている。

なぜ、こんなことを始めたのか。これからの生活に不安を抱いているからである。来年の4月からは、確実に収入が減る。したがって、生活スタイルを見直さなければならない。いったいどこにお金を使っているのか、使いすぎているのか。節約できる部分はどこなのか。家計簿アプリが、それを教えてくれる。

もう一つは、金銭感覚の麻痺である。電子決済が多いため、財布から現金を出すことがない。使っているという実感が薄らいでいく。非常に危険である。慣れは怖い。これからは、月ごとのお小遣いを決めて、家計簿アプリを使い、残金を管理していくのがいいかもしれない。

さらには、何かしたくなったということもある。始めたのが、8月の第1週だった。ちょうど一段落し、気持ちに余裕が出てきた頃である。いつものことだが、こうなると、何かしたくなる。ふと家計簿のことが思い浮かんだ。思い立ったら吉日である。すぐに動いた。実は、数年前にも家計簿をつけようとして三日坊主で終わったことがあった。スマホには、まだそのときのアプリが残っていた。ネットで家計簿アプリのおすすめランキングを調べてみた。そのアプリは、第2位だった。そうであれば、そのまま使えばいいか、となった。

副次的なことではあるが、毎日家計簿アプリを使い、お金を管理することを通して、自分の生活を点検しようという思いもある。毎日、何か一つのことを続けるようにしていれば、何となく流されるように生活するという事は防げるように思う。他にも、日記を書く、運動をするなどある。継続力がない私には、生活に直結するお金のことがいいのかもしれない。

これからの生活への不安感が、家計簿アプリを継続させる原動力になるとは、悲しい現実である。必要に迫られると、人は行動する。この家計簿アプリだが、意外と楽しい。昔のように、家計簿という紙媒体に、毎日書き込んでいくものだと、気分も減入ってくるかもしれない。スマホだと、そうはならない。どうもスマホには、人の感情を抑制する機能があるのかもしれない。

家計簿アプリも3か月目になった。12月まで続けたら、新しい生活スタイルを考え、1月からそれを実践してみようと思う。3月まで続けたら、以前の生活と新しい生活を比較してみる。おもしろそうである。そのためには、毎日の地道なデータ入力が必要となる。ちょっとした目標ができた。まさか、この年になって家計簿をつけるとは思わなかった。これも、生きるためである。